



城西大学経営学部

坂戸・夏よさこい

「経済波及効果 1 億円突破報告会」開催



2018年12月2日（日）に坂戸市の緑町集会所で、坂戸・夏よさこい「経済波及効果 1 億円突破報告会」が開催されました。坂戸一丁目地区の住民が約 90 名参加しました。当日は、城西大学経営学部生 4 年生の鈴木美緒さんと 3 年生の橋本裕弥さんが報告を行いました。

今年の坂戸・夏よさこいは、経済波及効果 1 億円突破を目指して、8 月 18 日（土）、19 日（日）に開催されました。2 日間でのべ約 3 万 5 千人の来場者を迎え、大成功のうちに閉幕しました。

イベント期間中、城西大学経営学部の講義「まちづくり」を履修する学生と「蛭川簿記塾」に所属する学生のべ 350 人がアンケート調査を実施しました。調査では、参加団体や来場者に、住所、年齢、来場の交通手段、会場周辺での飲食の有無、同出費額、意見・要望などを尋ねました。そして、蛭川簿記塾の学生が、埼玉県総務部統計課の作成する経済波及分析ツールを活用して、経済波及効果を算出し、さらにその結果を分析しました。

その分析結果について、城西大学経営学部の鈴木さんと橋本さんが詳細な報告を行いました。経済波及効果が 1 億 3 千万円を超えたと報告されると、参加者からは驚きの声が上がりました。最後に、来年以降、坂戸・夏よさこいの経済波及効果を上げていくための提言がされると、参加者は真剣に耳を傾け、うなづく姿も多く見られました。